

南大泉図書館 図書館利用者懇談会

- | | |
|--------|---|
| 1 日時 | 令和4年11月5日(土) 11時10分～12時10分 |
| 2 場所 | 南大泉青少年館2階 和室 |
| 3 参加者 | 利用者 4名
図書館 3名
(館長、館長代理、統括責任者) |
| 4 テーマ | 「南大泉図書館に臨む図書館サービスとは」 |
| 5 配付資料 | (1) 図書館利用者懇談会(レジュメ)
(2) 図書館構想概要版
(3) 練馬区教育要覧(図書館部分抜粋) |
| 6 次第 | (1) 館長挨拶
(2) 懇談
(3) 館長挨拶 |

南大泉図書館利用者懇談会 会議録

1 南大泉図書館長挨拶

本日は図書館懇談会にご参加いただき、誠にありがとうございます。皆様から図書館運営に関するご意見を頂戴し、今後の図書館運営に活かしたいと考えております。それでは利用者懇談会を始めたいと思います。本日は南大泉図書館の運営に関してお伺いしたいと思っておりますが、練馬区立図書館全般に関するご意見もお伺いさせていただければと思います。南大泉図書館単独では対応できないこと、例えば図書館のシステムに関する事などにつきましては、練馬区の図書館を統括している光が丘図書館にご報告させていただきます。

2 懇談会

図書館 最初にレジュメをご覧ください。1枚目の下段に昨年度の利用者アンケートでいただいたご意見をいくつか記載いたしました。電子書籍を導入してほしいなど、様々なご意見を頂戴しております。本日から本年度の利用者アンケートも実施しておりますので、ご協力いただければ幸いです。

利用者 板橋区の図書館が電子書籍を導入しました。私は板橋区の図書館が近くてよく使うのですが、電子書籍は区民だけが対象なので残念です。

私が何を借りていて、貸出期限がいつまでなのかというページを見る時にすぐ分かりにくくて、どこを押せば良いのかいつも分からなくなります。例えば、

もっと視覚的に分かりやすい、ここを押したら私のページという感じでやっていただけるとすごく使いやすくなるかなと。イベントもグーグルフォームとか LINE でイベントありますよというのが来ると良いなど。LINE で来たものを押せば申し込めたりもするので。子どもたちにも知らせたいイベントっていっぱいあるんですけど、図書館に行かないとイベントがやっているのかが分からなかったりするので、こちらから情報収集しないと図書館のイベントってすごく分かりにくいと思います。なので、LINE とかあるとすごく便利かなと思います。

図書館 ありがとうございます。おっしゃる通り、練馬区のホームページにはもっと使いやすくなるなという部分があると思います。色々ご指摘いただければと思います。先ほど電子書籍、板橋区さんが始めたという話がありました。

利用者 11月からです。

図書館 本日、カラーのプリントをお配りしているかと思います。こちらは今後の図書館運営を見据えた「図書館構想」の概要版となります。こちらを見て抱くと、「電子書籍や事業のオン LINE 配信など、非対面サービスの導入」とうたわれておりまして、これから練馬区も考えていくことになると思います。

イベントが、参加しやすいような方法があるのではないかというお話をいただきましたが、イベントの中身はいかがでしょうか。(レジュメ)の裏側を見ていただきたいのですが、少しだけですが、本年度実施したイベントが書かれています。

「英語を楽しむ音読のすすめ」は英会話講師を招いて音読を楽しんでもらいます。読めるようになるのではなく、英語の独特の音感を楽しんでもらうイベントです。

「バリアフリー映画会」、音声ガイド付きの映画会も実施しました。「南大泉寄席」も人気なのですが、アマチュア講師の方に来ていただいて講談を語ってもらいます。「大人のためのブックトーク」は様々なテーマでブックトークを楽しんでもらいます。ちなみに、11月26日に私自身がブックトークを予定してまして、今回のテーマが「ホラーミステリーのすすめ」と題してホラーミステリーのジャンルの本を紹介します。「古典祭り テーブルかるたで源平戦」はこの近くの東大泉かるた同好会さんから講師をお招きして源氏と平氏に分かれた団体戦で競技カルタを楽しんでもらいます。このようなイベントを実施していますが、こんなイベントに参加したいとか、先ほどお子さまに紹介したいという話がありました。ご家族でもこんなイベントがあったら参加したいというようなものはございますでしょうか。

利用者 表(エントランスや掲示板)のところにいつも出ているじゃないですか。

図書館 はい。

利用者 古典祭りとか寄席とか気になってはいましたが、源平戦に関してはどのくらいの習熟度が想定されているのかが分からなくて、落語とかは好きなのですが参加者の年齢層も分からなくて、面白そうだなと思ったイベントも児童向けとかは書

いてあったりするのですが、もう少し中身が分かりやすくなっていると来やすいなというのは感じます。

図書館 南大泉寄席も講談を三話やりますということくらいしか書かれていません。ポスターやチラシで中身がもう少し詳細に分かる方がよろしいということですよ。

利用者 中身というか、どういった層が想定されているのかが分かると参加しやすいかなと思います。

図書館 なるほど。

利用者 「英語で楽しむ」とかも、どのくらい英語が分かっていなければいけないのかが分かると良いと思います。定員が割と少ないので、その中に私が入って良いのかなとか。

図書館 ぜひご参加いただきたいのですが。

利用者 なんか場違いなんじゃないかとか。

利用者 そうそう、そうなんです。そういうところは、ちょっとためらうところになっています。

図書館 ありがとうございます。当館、練馬区 12 館のなかでうちだけが会議室を持っていません。他の館は自前の会議室でイベントが行えるので、うちよりも少し人数が多くなります。当館は基本的に借りられるのがこの会場になるので、5 名とか、多くても 10 名とかになります。

利用者 ああ、なるほど。ここは図書館のものではないんですね。

図書館 はい、違うんです。ここは青少年館さんのものなんです。

利用者 お借りしている？

図書館 はい、お借りしています。もちろん、同じ練馬区の組織なので我々は無料で借りられるのですが、一般のユーザーさんが優先なんです。一般のユーザーさんが希望されていない日に図書館のイベントを実施しています。結構自由度が低いんです。

利用者 そうなんですね。

図書館 人数が少ないので、「私が参加して良いの？」と言われると本当に申し訳ないなと思います。でも、場違いみたいなことは絶対にありません。当館のイベントは人数が少ない分、アットホームに行っています。先ほどの装備体験でもそうなんです。講師は必ずいますが、講師だけでやるということはなく、必ずサポートに入るようにしていますし、敷居は高くないように実施しています。

利用者 よろしいでしょうか。

図書館 もちろんです。

利用者 私は光が丘で利用者の会をやっています。

図書館 よろしくお願ひします。

利用者 遠路はるばる来てみました。ここに来る前に前もって調べたら徒歩 15 分となっ

ていたのですが、ちょっと遅れてしまってすみません。

図書館 とんでもないです。

利用者 あの、ここに来るまでに住民の方とか近くの交番とかで聞いたんですよ。上手く検索ができなかったのが聞いたのですが、誰も知らないんですよ。知名度が光が丘あたりだと考えられないことです。公園の中なので分かりやすいんですが。

図書館 施設が固まっていますし。

利用者 そうですよ。ある程度知名度も必要かと思いました。遠くから来たのは、図書館見学したいということもあるし、一般的に練馬区の図書館は青少年、若者向け、現役世代向けのイベントがやや少ないような気がしています。他区と比べると。他区では、率先して若い人を取り込むような取り組みをしている図書館が多いですよ。そういうところが（練馬区には）少ないので、ここは青少年館と一緒に、そういう層を狙っているというようなところがあるのかな思っています、そういう好奇心とか関心があって伺った次第です。

図書館 ありがとうございます。いま、青少年向けのというお話がありました。当館は練馬区の図書館の中で青少年ホームページの担当館になっています。その青少年ページで青少年向けの本の紹介をしている関係で、青少年系のイベント等には力を入れております。ちょうど今、図書館で配布していますのが、青少年向けの「ふりーページ」や青少年向けのブックリストをお配りしています。ブックリストはどの図書館でも作成しているかと思いますが、今回私共が青少年向けとして配っているものは特別な形をしています。実は読書ノートの形をしています。読書ノートを開いていくと色々な青少年向けの本が紹介されていて、最後は本当に読書ノートとしても使えるような作りになっています。恐らく、こういう形のブックリストを配っている図書館はないと思います。まず、青少年の方に目を向けてもらうところからスタートしております。そういった意味で、青少年向けの取り組みは色々な形で実施しています。また、当館では動画の配信にも力を入れております。青少年の方はスマホやタブレットをすごく良く使われるので、図書館の使い方も変わってきていると感じます。そこで、まず動画を見てもおうということで、青少年向けに色々な動画を出しています。お仕事コラボという名称で、青少年にお仕事を紹介するとか、SDGsの17の目標を全部出そうと思っただけで、いま半分くらい出ています。そういう形で、必ずしもリアルな世界でのイベントだけでなく、インターネット上やブックリストといった形で青少年の方を取り込もうとしています。どこの図書館も児童の時、小学生の時には図書館が大好きでよく借りに来る、大人になるとまたよく借りに来てくれます。しかし、この中間のところ、図書館から離れます。部活だとか、色々なことで図書館に目が向かなくなる、しょうがないことだと思います。そういった意味で、図書館に興味を持ってもらう、必ずしも本を読むための場所ではないということ

青少年の方にアピールしていきたいというのが南大泉図書館のスタンスとなっています。

利用者 私はその小学校で育って、ずっと地元にあります。

図書館 大2小ですか。

利用者 そうです。大2小から大2中に行って、ずっと図書館にお世話になっています。コロナ禍で青少年館に集まる学生って減っているんじゃないかと思います。受験生は自習室を利用しているとは思いますが。下の調べものコーナーにある本とかを時間外とかでも自習室で使えるようになると良いなと思います。それと、ライトノベルやコミックが充実していて、小学校、中学校の時にホントにホントにお世話になりました。

図書館 ありがとうございます。

利用者 今の棚の並びで面白いと思うのが、ライトノベルの棚の隣に海外文芸が並んでいる、中高生の「ちょっと文学作品読んでみたい」にふらっと取りやすい並びになっているのはかなり面白いと思っています。

図書館 ありがとうございます。

利用者 同じように、マンガの棚に、例えば『SPY×FAMILY』からスパイ関連、東西冷戦とか他の棚に行くのも良いのかなと。企画とかで繋がると専門書を読む面白みに繋がっていかないかなと思います。

図書館 まさにその通りだと思います。

利用者 児童コーナーのカーペット敷きが無くなったじゃないですか。この間、分館を見にいったら、小学生が話しながら夏休みの自由研究をやったりするのは難しそうでした。そうであれば、青少年館全体でそういう対応ができるようになると良いなと思います。外の庭とか使えると良いなと思います。

図書館 そうですね。ポケットパークと呼んでいます。

利用者 あそこに出て行って本が読めたりとか、汚れたりとかで難しいとは思いますが。言いたいことがまとまってなくて申し訳ありません。

図書館 とんでもありません。ありがとうございます。実は今言っていた、青少年館さんなどに本を持って行って使うというのは、図書館ではアウトリーチと呼んでいます。まさに図書館構想のコンセプト3の「人と人、人と地域のつながり」という項目でアウトリーチを進めようというのが提唱されています。実際にほかの県の例ですが、図書館の本を薬局に置いておくという試みが報告されています。そこに薬の関係の本が並んでいて、その本を見ながら薬剤師さんと相談するというようなことが出来るところもあります。そういう意味でのアウトリーチを進めるという意味では同じ建物ですから、青少年館さんへのアプローチは考えていかなければいけないと思います。ありがとうございます。

図書館 次のテーマですが、当館の職員の対応、接遇と呼んでいます、気になること

はございますでしょうか。

利用者 リファレンスとかでもお世話になったんですけども、丁寧に対応してもらいました。

図書館 ありがとうございます。

利用者 調べものコーナーの近くで(レファレンスを)受けることになってしまうので、空間的にピリッとした雰囲気がありますよね。あそこがもう少し気軽に入れるような感じになると。

図書館 なるほど。

利用者 仕切りのついた机とかにすると周りで本を選んでいるのが気にならないかなと。

図書館 個別のブースにするという感じですね。

利用者 はい。なんか、申し訳ないなと思いながら、あの辺をウロウロしています。

図書館 なるほど。

利用者 青少年館さんとの共催行事とかはあるんですか。

図書館 はい、やっていたんですが、コロナで中止になっています。青少年館さんと一緒にやると人数が集まってしまって、今はちょっと控えています。コロナ前までは「夏フェス」という名前で複数のイベントを同時に行っていました。例えば、向かい側にある音楽練習室に色々な機材があるのですが、その中にドラムセットがございまして。そのドラムの調律師さんに青少年館さんからきていただいて、子どもたちと一緒にドラムを叩くというようなイベントをやっていたんですが、出来なくなりました。このコロナが完全に落ち着けばまた考えていけるのかなと思っています。

利用者 さっきレファレンスコーナーの話がでましたが、私が住んでいるところは板橋区に近いので、練馬区の小竹図書館よりも板橋区の中央図書館に行く方が多くなります。中央図書館が綺麗になったというのも大きいんですけど、カフェがあったり、自由に使える自習室が広かったり、レファレンスコーナーもちょっと独立した形になっていて、部屋が分かると入りづらいですけど、他のブースとは離れていて、通りすがりに行ける感じになっていて、目隠しも少ししてあります。

図書館 そうなんですね。

利用者 はい。カウンターにいる方に聞くっていうのはすごくハードルが高くて、自分で調べてみて分からないという時にお願ひするみたいになっています。やはりレファレンスのハードルってすごく高くて、私も図書館には子供のころにはよく来ていたけど、行かない時間があって、また最近という感じなので、若い人にとって見れば、他人に話しかけるということ自体がハードルが高いと思います。それもやはり、LINEとかチャットとかで「この本ないですか」と事前に聞けたりとか、「こういうことを調べたいけどどんな本が良いですか」等を書いたり、打ったりできるシステムがあると良いかなと思います。

図書館 実際に来る前に「こんなテーマで」というようなことが LINE などでも聞けたらということですね。

利用者 そうできたら便利だと思います。来てからでも、どうしたらよいかは分かりませんがもっと話しやすい雰囲気というか、聞きやすい雰囲気があると良いなど。

図書館 ちなみに、板橋区の中央図書館は LINE とかでできるもの何かあるんでしょうか。

利用者 それはいいですね。イベントに関してはあまり変わらないと思いますね。サイトもあまり変わらないですね、毎回ログインしなくてはいけませんし。ただ、中央図書館は下にカフェテリアがあってそこで図書館の本が読めるようになっています。なので、中学生も沢山来られているなという印象があります。

図書館 やはりカフェテリアで本が読めるんですね。

利用者 そうなんです。

図書館 ずいぶん増えてきて、流れとしてはそちらが主流になりつつあるかと思います。もちろん、絶対数は限られていると思いますが、増えていく方向という意味ではその流れかと思います。

利用者 はい。そう思います。ただ本を読みに来るというだけではなかなか人が集まらないかと思います。

図書館 そうですね。

利用者 ロビーに机を置いたりとかは難しいですか。

図書館 1階のホールですね。図書館には車いすの利用者の方もいらっしゃるのですが、動線を考えるとちょっと難しい部分があるかと思います。書架ももっと通路を狭くすると沢山本が置けるのですが、あれ以上狭くすると車いすの方が通れなくなってしまうからです。なので、その辺がなかなか難しいとは思いますが、ここも30年以上たっていますから、大規模改修等の時には今のようなご意見が最初の構想上から対応できると良いなと思います。

ちょうど、貫井図書館が立て替えを計画していますが、その中ではカフェテラスのようなものも検討されていると思います。

利用者 この周りって喫茶店が全然ないじゃないですか。喫茶店利用でも人が集まりやすいですね。

図書館 本当ですね。喫茶店もそうですが、食べ物屋さんがないですね。

利用者 ないですね。ファミマも無くなりましたしね。

図書館 午前中から来て、どこかで食事をして戻ってくるという利用の仕方がすごく難しいですね。

利用者 ちょっと歩いてセブンイレブンとかですね。

図書館 あとは保谷の駅前まで行かないと。

利用者 それは大変ですね。確かにアクセスは悪いですね。

図書館 先ほどのお話にも繋がるかと思いますが、アクセスは本当に悪いです。

利用者 むしろ西東京市の図書館の方が（アクセスが）良いですよ。

図書館 保谷駅の駅ビルの上が西東京市の図書館になっていますからね。利便性はとても良いですね。

利用者 あれは西東京市の図書館なんですね。

利用者 そうなんだ。

図書館 はい、保谷駅はあそこから西東京市なんです。

利用者 そうなんですね。知らなかった。

図書館 西武池袋線の大泉学園のほぼ駅ビルの中に（練馬区の）受取窓口がございます。本はないのですが、予約の本を受け取ることができます。なので、当館にかかってくる電話での予約で大泉学園の受取窓口を指定するケースが沢山ございます。ここまで保谷駅から往復しなければいけないのはつらいですよ。

利用者 そうなると、実用書を目で見えて選んでいくとか、小学生が読みに来るとかという利用を拾っていくという感じですか。

図書館 住宅地のだ真ん中にありますので、この周辺の住民の方に本を見て選んでいただく、ブラウジングといいますが、ネット検索だけではなくですね。そういう意味では、本当に地域に根差した図書館ではあります。

利用者 今の小学生は良く知らないんですが、調べものの辿るべき手順のことって学校でちゃんとやらないと思うんですよ。なので、調べ方シートみたいなものがあると自由研究がやりやすくなるような気がします。調べる方法とかを教えてもらいつつ、「分からなくなったら聞いてね」と言ってもらえると、大人になっても図書館を利用すんじゃないかと思います。ああやって調べて、なかったら聞けば良いんだみたいな方向に育ってくれないかなと。

図書館 ありがとうございます。大切なことだと思います。図書館の使い方が分からないともっと利用できるのにとというのが出てくると思いますので、今後もそのようなご意見を考えていきたいと思えます。今のご意見にあった調べものの道筋のことをパスファインダーと呼んでいます。調べものをする際の手順や方法を記したのですが、当館ではパスファインダーを青少年ページに載せています。色々なテーマで載せているのですが、最近では11月1日に「月」をテーマとしたパスファインダーをアップしました。「月」自身は理科系のテーマで、月の探査や潮の満ち引きだとかの本が該当しますが、同時に「月」は和歌とか俳句の対象でもあるので、文学の本も紹介できますし、「月の女神」のように神話や伝説の本でも月はたくさん紹介されています。「月」の本って色んな所にあるよというパスファインダーになっています。ぜひ一度ご覧いただければと思います。

利用者 質問ばかりで申し訳ないんですけど、情報収集に来ましたのでお聞きしたいんですけど、担当校みたいなのがございますね？

- 図書館** はい、支援校のことですね。
- 利用者** はい、こちらの図書館の場合、小学校でしたら何校くらい持っているのでしょうか。
- 図書館** 小学校が 6 校、中学校が 3 校、それと特別支援学校が 2 校となります。
- 利用者** ひろばの方はそういう担当からは外れているんですか。
- 図書館** ひろばは分室という扱いですので、当館とひろばで一つの図書館として学校支援を行っています。ちょうど今、ひろばの「ひろばギャラリー」という展示スペースで特別支援学校の旭出学園さんの生徒さんが作った版画を展示しています。なので、ひろばも本館と一緒に支援しているという形になります。
- 利用者** 青少年たちが読み手になって、子どもにサービスを行うと参加者が出るのではないかと思うのですが、おはなし会の聞き手ではなくなった子たちが話し手の方というのはひろばの方でしているかもしれません。
- 図書館** その取り組みは今はひろばも含めて当館の中ではやっておりません。ただ、支援している中学校が 3 校あるのですが、その中学校の中で中学生が小学生に読み聞かせをするというのやっております。そこに対して我々が本を貸し出す、団体貸出といいますが、そういう形での支援はしております。
- 利用者** 団体貸出以外の支援で他にされていますか。
- 図書館** はい、例えば、最近も大泉第 6 小学校におはなし会でパネルシアターを演じました。そういう形で出張しておはなし会を実施したり、決められたテーマでブックトークをしてほしいと言われると、その本を持って行ってブックトークを行います。「本の探検ラリー」という行事もあり、本の中からクイズが出題されていて、クイズに答えるために本を読むことで色々な本に接してもらうイベントです。主に小学校で実施しています。学校支援は図書館から外に出て、学校で行うものが多いので目立ちませんが、どの図書館もそのような支援をしております。
- 利用者** わざわざここに来なくても学校で借りられて、学校で返すことが出来るんですね。
- 図書館** はい、できます。毎月何百冊という単位で本が動いています。国語の授業で「宮沢賢治の本」と言われると学年に合わせた選書をしますし、低学年だと「働く車」とかよくテーマになっていて消防車や救急車などの本を沢山貸し出しています。練馬大根の本もよくテーマになっています。
- 図書館** お時間もだいぶ経ってききましたので、今までのことと関係なく、ざっくばらんになにかございましたら仰っていただけると助かります。
- 利用者** 分館とここの間の道順がちょっと分かりづらいなと思います。分館を卒業した子が南大泉図書館を知る方法が分館にあると良いなと思います。(分館には)青い鳥文庫すらないですよ。少しだけでもあると、こういう本が南大泉にあるんだというようなことが伝わると良いのかなと思います。

- 図書館** ありがとうございます。それは我々の大きなテーマとなっています。ひろばを卒業した子たちを何とか南大泉にと。
- 利用者** ちょっと距離がありますよね。
- 図書館** そうなんです。分室は隣にあるイメージなんです、そうじゃないんですよ。
- 利用者** 遠足的な感じで来る距離ですよ。
- 図書館** 本当にそうだと思います。本日は分室の責任者も参加しております。
- 利用者** 本の選び方の講座みたいのはあるんですか。
- 図書館** 選び方というのは無いんですが、ブックリストやコーナーの紹介等の掲示はしてあります。
- 利用者** 私も展示されているものから面白そうだなと思って手にするんですけど、ざっと見てどの本を選ぼうかなというのが難しいなと思う時があります。誰かに本を進めたりするとき、例えば誰かに絵本とかをプレゼントする時とかにどういふところを見たら選びやすいのかとか、出版者さんでここだと勉強ばいものが多いよだとか、そういう選ぶ指標があるとありがたいなと思うことがあります。そういう時に福袋とかがあると良いですね。
- 図書館** なるほど、こんな本があるかいとう感じですね。
- 利用者** 福袋の形でなくとも、葉とかにこんな本ですみたいなキーワードを書いておいて貸出すような。
- 図書館** まさに、数日前にやっていたイベントで「シークレットブック」というのがあります。本を包装して中身が分からないようにして外側に葉で一文を書いて貸出をするイベントをやっていたんですけどもとても好評でした。
- 利用者** どうしても自分で選ぶと、装丁が好きだなとか、面白そうだけど子供向きかなと手に取らなかつたりするので。
- 図書館** 少し違うんですけども、今、当館でゲートを入ったすぐ右手のところに「司書メ本」というコーナーを作っています。「司書メ本」は「司書のメッセージ付きの本」なのですが、本に手製のカバーがかけてあって、本自体は見えないんですが、カバーに司書がその本を読んだ感想が書いてあって、そちらを読んでから中身を見るという企画になっています。読んでみると、全然違うなということもあるかもしれませんが、少し近いかと思えますし、まだ残っていますので帰りがけに見ていただけたら嬉しいです。
- 利用者** 既に実施した事業のなかで、ボランティアが関わっているのは何かあるんですか。例えば、「英語で楽しむ音読」って言うのは英語の先生とかボランティアさんが関わっているんですか。
- 図書館** 英語の先生は当社の社員になりますが、南大泉寄席の寄席をやって下さったのはアマチュア講談師さんなので一般的な意味でボランティアと呼ぶかは別にして、プロの講師の方ではありません。区民の方です。

利用者 そうなんですね。バリアフリーの映画会は主宰も運営も全部図書館になりますか。

図書館 そうなります。

利用者 ボランティアは関わっていない。

図書館 そうですね。11月12日にこの近所の農家の方にひろばで野菜の選び方、おいしい野菜の選び方を教えてもらいます。これも謝礼は出しますが、実質的にはボランティアと同じかと思います。そういう意味では沢山あります。弊社の社員ではなく、地域の方にお手伝いいただいております。

利用者 伝統的に地元に開かれた図書館なんですね。

図書館 今のお答えでよろしいでしょうか。

利用者 はい。

利用者 ホームページで、よく使うやつがポンポンと大きくあると良いのかなと。細々したのが沢山あると困るし、普段使うところが分かりやすいと良いのかなと。

図書館 トップページの構成ということですよ。

利用者 そうです。もっと大きな方が良いかと。

図書館 例えば、スマートフォンの場合、スマートフォン専用のページとパソコン用のページが両方見れるんですが、私はパソコン用のページの方が見やすいかなという気がして、スマートフォンでもパソコンの方の画面を開くようにしています。その方が普段使っている検索機等のイメージに近くて個人的には使いやすいかなと思います。

利用者 私も検索機のような表示の方が見やすいと思います。

図書館 (スマートフォンで神奈川県川崎市立図書館のホームページを見せながら) こういうことですよ。

利用者 そうです、そうです。

図書館 練馬区は細かい文字なので、これくらいの入り口が良いということですよ。

利用者 詳しく知りたければ、探していけると思うので。

利用者 イベントですが、今は館内に人がいる時間帯しか申し込みできないじゃないですか。

図書館 おっしゃる通りです。

利用者 働いている人とかも申し込みやすいようなシステムができると良いと思います。

図書館 電話にしてもカウンターにしても開館の時間帯しか申し込みないです。

利用者 若者は電話かけたりとか、参加したいですとか言いづらいです。たぶんあると思います。

図書館 そうですよ。おっしゃる通りだとも思います。ひろばで「ぬいぐるみお泊り会」というイベントをやっていた時に、人気があるイベントで、ある利用者さんから「仕事をしていて申し込みに行けない」と言われました。それで、2回くらい抽選にしたことがあります。9時の開館の段階で並んでしまっている状態だったの

ですが、先着順ではないという対応をしたことがあります。

利用者 なるほど。

図書館 公平性という観点からそういうこともやってみたんですが。本当に大きなテーマだと思います。ありがとうございます。

利用者 せっかくさっきの話のようにパスファインダーで「月」をやっているという情報もやっぱり分からないですよ。届いていないんですよ。気になるし、見たいなと今聞いて思うんです。やっぱり、届いていないから見れないというところがあって、なので、デジタルの方はお金かけでも早くやった方が良さうなきがします。

利用者 ホームページは練馬区全体なんですよ。

図書館 そうです。その中で青少年ページを当館が担当して更新しています。結構力を入れていまして、ホームページ上でパラパラ漫画見られます。そのパラパラ漫画を止めると、止めたところに該当する本が表示されます。

利用者 面白いですね。

利用者 練馬区のトップページで各館のタブが分けられていて、クリックすると南大泉だけの情報が見られるみたいな仕組みとか、遠方の図書館は行きにくいので、私は南大泉しか行かないので、欲しい館の情報だけがすぐに手に入るようなものが望ましいです。

図書館 なるほど。練馬区のホームページもまだまだ改善していく余地があると思います。

図書館 他にご意見はございますでしょうか。

利用者 (特にないことを頷いて了承)

図書館 それでは予定の時間となりました。本日は本当にありがとうございました。

利用者 ありがとうございました。

図書館 資料の最期に懇談会のアンケートがございましたので、ご記入いただけますと助かります。

3 南大泉図書館長挨拶

本日は本当に貴重なご意見をいただき、ありがとうございました。先ほどのホームページなどの大きな事柄につきましては、光が丘図書館に報告いたします。急にとというのは難しいにしても徐々に改善されていくと思います。また、図書館構想を見ていただいてもデジタル化ということを見据えておりますので、今後も見守っていただければと思います。当館のイベント等にご参加いただき、今後も南大泉図書館をよろしく願いいたします。本日は本当にどうもありがとうございました。